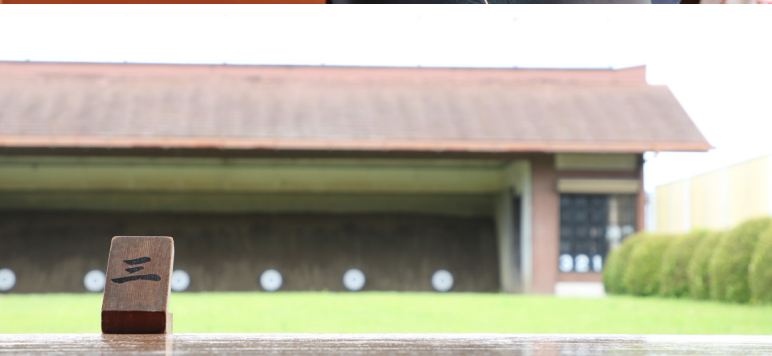


勝利のその先へ -「ありがとう」を力に変えて-

県代表の座をかけて争う各種大会などに出場し、全国・関東大会への進出を決めた小中学生を紹介します。支えてくれた仲間や家族、先生、地域の方への感謝を胸に練習に励む選手たち。仲間と共に、切磋琢磨した時間には、勝利すること以上にかけがいのない学びと成長がありました。



体操

矢板中学校 体操部

(後左から) 手塚 心美さん・渡邊 梨穂さん・坂井 志織さん・五月女 麗さん
(前左から) 田村 京悟さん・江面 春杜さん・村上 大和さん・田代 悠莉さん

最後にみんなで笑うために

男女それぞれ、団体戦で第55回関東中学校体操競技大会へ出場します。昨年も出場しましたが、関東大会にはオリンピックに出場するような選手もいて、全国のレベルを肌で感じ、とても刺激を受けました。今年のチームは、お互いに助け合う雰囲気できていて、良い緊張感をもって競技に臨める環境が作れていると思います。3年生は、中学生最後の大会になるので、これまでの経験、重ねてきた日々の練習の全てをぶつけてきます。そして、今まで練習をしてきた自分に対し、納得のいく演技をし、笑顔で終われるようがんばります。



野球

片岡小学校 6年 澤 陽加さん

県女子学童野球選抜チーム
栃木スーパーガールズ

全力プレーで2連覇を目指す

NPB ガールズトーナメント全日本女子学童軟式野球大会に出場します。普段は矢板南ファイターズで男子と一緒に野球をしています。県選抜チーム「栃木スーパーガールズ」に選ばれ、女子でもレベルの高い選手がたくさんいることに驚きました。

栃木スーパーガールズは、昨年2年ぶり2度目の全国優勝をしている強豪チームです。私にとっては、初めての全国大会になりますが、悔いの残らない試合をして、良い経験にしたいです。

一人はみんなのために

第34回関東中学校弓道大会へ出場します。3年間、弓道を通じて精神が鍛えられました。勝ちたいと高ぶる気持ちや緊張をコントロールし、平常心を保って矢を放つのは、本当に難しいことです。また、団体競技なので、支えてくれる仲間に出会えたことも財産です。自分たちのやりたい姿をイメージし、うれしい時は共に喜び、うまくいかない時は話し合いを重ね、仲間がいたから乗り越えられた壁が何度もありました。そして関東大会優勝を目指して大会に挑みます。楽しい時間をくれた仲間のため、これまでの学びを出し切って有終の美を飾りたいです。



陸上

矢板中学校 陸上部
共通男子 3,000 m 遅澤 友海さん

応援してくれるみんなのために

第51回全日本中学校陸上競技選手権大会に出場します。小学3年生から陸上クラブ「よろしく真岡」に通っていて、中学生からは部活とクラブの両方で練習してきました。家族や「よろしく真岡」のみんな、部活の先輩や先生など、たくさんの人に支えられて、標準記録8分57秒を切り、全国大会に進出することができました。

全国大会では自己新記録(8分49秒)の更新と決勝進出を目標として、これまで培ってきた粘り強さを武器にがんばります。



弓道

矢板中学校 弓道部

(左から) 藤田 亜希さん・岸 優珠姫さん・石田 せり奈さん・室井 美桜さん



相撲

那須塩原市立
東小学校 6年 竹田 子哲さん

矢板市立
東小学校 5年 石川 武虎さん

大好きな相撲、もっと強くなりたい

関東小学生相撲優勝大会へ出場します。

以前、別の全国大会に出場し、強い選手がたくさんいて、自分の相撲を取ることができずに負けて悔しい思いをしました。今年は、悔しさをバネに大きく成長できた1年だと思っています。練習を積んで勝てるようになったことで、より相撲が好きになりました。

関東大会では練習の成果を発揮し、ベスト4に入って、全国大会に再挑戦したいです。